

## 多文化理解学習会——パラダイムと多文化主義

多文化社会のあり方をみんなで考える学習会です。今回は学術的な切り口で多文化知識の基礎に触れたいと思います。

- 日 時 2019年12月14日(土) 14時から17時
- 場 所 神奈川県中小企業団体中央会・会議室  
横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル9階  
[https://www.kipc.or.jp/about\\_kip/access/](https://www.kipc.or.jp/about_kip/access/)

### ■ プログラム

14:00~14:05 イン트로

14:05~14:55 発表1「パラダイムとは何か 『科学革命の構造』より」

小林真実子(東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻・修士課程)

「パラダイム」は、一般に「模範」という意味で広く使われている語であるが、トーマス・クーンが科学論の専門用語として用いたことで一気に有名な言葉となった。本発表では、クーンが提唱した「パラダイム」概念を考察し、当時巻き起こったクーンへの批判・論争を概観する。

14:55~15:15 討論1

15:15~15:25 休憩

15:25~16:25 発表2「多文化主義とは何か」

西村明夫(RASCコミュニティ通訳支援センター代表)

多文化主義関連の文献にはパラダイムという言葉が時々登場する。ここでは発表1で学んだことを踏まえて、多文化主義の種類、アウトライン、課題を分かりやすく触れていく。

16:25~16:55 討論2

16:55~17:00 クローズ

- 主 催 RASCコミュニティ通訳支援センター、小林真実子
- 定 員 20名
- 申込方法 u-akiojan@coffee.ocn.ne.jp まで「多文化理解学習会申込」と明記し「氏名」「所属(個人の場合は不要)」を記載して申し込んでください。
- 参加費 1,000円(学生無料)
- 発表者プロフィール

[小林真実子]

慶應義塾大学文学部卒業(哲学学士)。現在、司会業の傍ら東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修士課程で科学史を研究中。

[西村明夫]

埼玉大学教養学部国際関係論課程卒、法政大学大学院政策科学研究科修士課程卒、神奈川県の医療通訳派遣システムを構築、著書に『外国人診療ガイド』(メジカルビュー社)、『医療通訳学習テキスト』(創英社/三省堂書店)他、移民政策学会元理事